



# ベリタスアカデミー

## 大切なお願い

- ① P5~11が予習用です。できるだけ自分で解いてみてから授業に臨んで下さい。
- ② 間違った問題では「なぜ間違ったのか」という原因を探り、理解し、修正する必要があります。ほとんどの場合、間違った原因は、本文や選択肢のある箇所や単語の意味がわからなかった（または意味を取り違えていた）からです。ですから解きながら意味がわからない箇所や単語には線を引きながら解く癖をつけましょう。そうすると間違った原因を見つけやすくなります。今回の予習から試してみてください。
- ③ 授業中に講師が行う書き込みは、授業後5～10分程度でサーバーにアップし、チャットのタイムライン上でダウンロードリンクを共有します。従って授業中は板書を取るのではなく話の内容に集中して下さい。

# 龍谷大学一般入試対策（ライブ配信）

2025年12月27日 18:30～

## 合格五ヶ条

- ① 暗記型の勉強から演習型の勉強に切り替えよう！
- ② 「なぜその答えになるのか？」という解答の根拠を常に意識しよう！
- ③ 「問題を解いて間違えて覚えて」これをひたすら繰り返そう！
- ④ 分かるところと分からないところを必ず分けて意識しよう！
- ⑤ 自分の無限の可能性を信じよう！

●講師のプロフィール●      ベリタスアカデミー   阪田   健太郎（さかた・けんたろう）

広島学院高校卒。東京大学文科Ⅲ類・慶應義塾大学法学部・同志社大学経済学部現役合格。TOEIC980点（990点満点）。英検1級1次合格。

学問とは本来一体のものであり、相互に関連し合うものである、という信念のもと、英語を中心に数学・国語・理科・社会の全科目の指導を行っている。サピックス代ゼミグループなど大手予備校・学習塾での講義のほか、映像授業、模試作成やベネッセ進研ゼミの教材作成、大学での入試講演会・SPI対策講座やTOEIC講座などで活動。

大修館『古文全訳辞典』映像講義担当。英語高等学校教科書、数研出版『EARTHRISE English Logic and Expression』映像講義担当。参考書『チャート式シリーズEARTHRISE総合英語』映像講義担当。

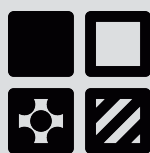
<http://veritas.bz>



## 解答にかける目安時間配分

合計70分

- |   |           |
|---|-----------|
| (I) 長文読解総合問題（問1から問15まで15問の出題）                 | .....30分  |
| (II) 長文読解総合問題（問1から問5まで5題の出題）                  | .....20分  |
| (III) 会話空所補充問題（Aは(1)から(5)まで5題の出題、Bは5つの空所を埋める） | ..... 10分 |
| (IV) 整序英作文問題（(1)から(5)まで5題の出題）                 | ..... 10分 |



## 問題別タイプ

- (I) 長文読解総合問題→思考問題（＝じっくり読んで考えて時間をかけて解く）
- (II) 長文読解総合問題→思考問題（＝じっくり読んで考えて時間をかけて解く）
- (III) 会話空所補充問題→知識問題（＝時間をかけずに素早く解く、わからない問題は飛ばす）
- (IV) 整序英作文問題→知識問題（＝時間をかけずに素早く解く、わからない問題は飛ばす）



# なぜ

その答えになるのか？（解くとき）  
間違ったのか？（答え合わせの時）

# × 数 = 合格

- ① 必ず解答の根拠・ヒントを探すように心がけ、メモしておく。（答え合わせの時に役立つ）例えば、内容一致の問題であれば、第何段落の何行目から判断して○なのか×なのかをメモしておく。
- ② 英文を読むとき、「わかる箇所」と「わからない箇所」、「わかる単語」と「わからない単語」をはっきりと分ける。例えば、「わからない箇所」や「わからない単語」には、下線を引く癖をつける。そうすれば復習の際に、その下に訳や意味を書き込むことができ、復習の際に役立つ。
- ③ 「なんとなく答えを選ぶ」のをやめる。何となくしか答えを選べないのは本文や選択肢の意味がわからないから。  
そのわからない箇所に②の要領で下線を引き、しっかり後で復習できるようにする。
- ④ 答え合わせの際には、「自分がなぜ間違ったのか」「何がわかっていなかったから間違ったのか」「何を誤って解釈していたから間違ったのか」「どの単語の意味がわからなかったから間違ったのか」など「間違った原因」をきちんと理解するように復習する。そうすれば二度と同じ形式の問題で間違わなくなる。これを怠ると何度も同じ形式の問題で間違うから伸びない。
- ⑤ ①②③④を心がけながら数をこなす。合格点の7割・8割を安定して正解できるまでただひたすら数をこなせば必ず合格できる。



## 知っておくと得する豆知識

- ① 本文や下線部の内容と一致するものを選ぶ問題では、正解の選択肢は、正解であることがばれないように、なるべく本文の単語をそのまま使わず、意味は同じで違う単語を使って作られる。逆に引っかけの選択肢は本文と一致しているという錯覚を起こさせるため、同じ単語をそのまま使って見た目が本文と一致している雰囲気を持たせる。
- ② 本番で焦る受験生に間違いさせるため、肯定と否定を勘違いさせて引っかける事がよくある。few, little, hardly, scarcely, seldom, rarelyなど一見したところ否定語に見えないの否定語には特に注意しよう。
- ③ 代名詞が何を指すか、必ず考える。これを考えれば、問題が解きやすくなることが多い。
- ④ all, every, always, neverなど意味が強すぎる言葉を含む選択肢は間違いであることが多い。
- ⑤ 誰が/何が→どうした/どうだ という主語と動詞のつながりを見失わないようにして英文を読んでいこう！



## ..... 長文総合問題対策【予習用】 .....

次の英文を読んで、後の問い(問1~問14)に答えなさい。 2022年 一般入試より (一部省略)

Numbers are important in our lives. As you read this, you are likely aware of what time it is, how old you are, your weight, and so on. The particular numbers in our language impact everything from our schedules to our self-esteem. In a historical sense, however, number-focused people like us are unusual. For most of our species' approximately 200,000 years, ①we had no means of precisely representing quantities. What's more, the 7,000 or so languages that exist today vary dramatically in how they deal with numbers.

There are native people living along the Amazon river ( ② ) language does not have numbers. Instead of using words for precise quantities, these “numberless” people rely on terms such as “a few” or “some.” Without numbers, humans struggle to differentiate and remember quantities as low as four. In ③an experiment, a researcher placed nuts into a can one at a time, then removed them one by one. The person watching was asked to ④signal when all the nuts were gone. Responses suggested that numberless people have trouble keeping track of how many nuts remain in the can, even if there are only four or five in total.

⑤This and many other experiments have led to a simple conclusion: when people do not have number words, they struggle to make number distinctions that seem natural to someone like you or me. Those few languages that have no or almost no numbers demonstrate that number words are not universal.

These numberless people are mentally normal and well adapted to where they live. Yet they struggle with tasks that require a precise understanding of quantities. ⑥This is unsurprising. After all, without ( ⑦ ), how can someone really understand whether there are, say, seven or eight birds in a tree? Such seemingly straightforward things become blurry through numberless eyes.

In our culture, before learning the words for numbers, children cannot clearly describe amounts beyond three. We must be taught the numbers before we can consistently and easily recognize higher quantities. In fact, learning the exact meaning of number words is a difficult process that takes years. Initially, kids learn numbers much like they learn letters. They recognize that numbers are organized in a sequence, but have little awareness of what each individual number means. ⑧Numbers require much practice to master.

None of us, then, is really a “numbers person.” We are not naturally able to describe quantities. Without ⑨the cultural traditions that teach us numbers from infancy, we would all struggle with even basic amounts. As we grow up, number words and written numerals transform our thinking. ⑩The process seems so normal that we think of it as a natural part of growing up, but it is not. Human brains come equipped with limited number instincts, and those must be developed with age.

Soon after birth, we can already tell the difference between two very different quantities — — for instance, 10 and 20 things. ( ⑪ ) we are not the only species capable of doing that. ⑫Apes and monkeys can. In addition to this, birds can not only understand numbers to a certain degree, but actually improve their skills significantly when trained by animal researchers.

⑬ Most human number systems rely on two key factors: the human talent for language and our tendency to focus on our hands and fingers. Not surprisingly, the bulk of the world's languages have number systems that are based on 5, 10 or 20. The word "five" in many languages comes from the word "hand." This focus on our hands — an indirect result of our walking upright — has led to numbers being a part of most cultures, but not all.

⑭ Numberless cultures help us understand how numbers impact every aspect of our daily life. Consider what time it is. Your day is ruled by minutes and seconds, but these concepts are not real in any physical sense and do not exist for numberless people.

問1 下線部①の意味として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① Our number words did not mean anything at all.
- ② Our words did not have accurate meanings.
- ③ There was no precise way to pronounce number words.
- ④ There was no way to express numbers accurately.

問2 空所②に入れるのに、もっとも適当なものを一つ選びなさい。

- ① which                      ② who                      ③ whose                      ④ whom

問3 下線部③an experiment について、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① 「数を持たない」人たちは、ナッツの総数が4つか5つなら理解できる。
- ② 研究者は、参加者に缶に入れたナッツを取り出すよう指示した。
- ③ 「数を持たない」人たちは、少ない量であれ、数の把握が困難である。
- ④ 研究者は、一度に複数のナッツを缶に入れて数の把握を調査した。

問4 下線部④signal の意味として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① to request the researcher                      ② to prove to the researcher
- ③ to inform the researcher                      ④ to question the researcher



問9 下線部⑨the cultural traditions について、本文の内容と一致しないものを一つ選びなさい。

- ① 多くの数量を適切に処理できるようになる前に数を学んでおく。
- ② 数量を表現するという生まれもった能力を教育によって伸ばす。
- ③ 文字を習得するのと同じように幼少期から数について教わる。
- ④ 数を使いこなせるようになるために多くの練習が求められる。

問10 下線部⑩の意味として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は、人間の自然な成長だが、そうではないと考えることもできる。
- ② 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は、とても自然な成長であるのに、当たり前現象とはとらえられていない。
- ③ 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は、当たり前すぎて自然に生じる人間の成長だと思われがちだが、決してそうではない。
- ④ 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は、決して普通の現象ではないが、私たちは人間の成長の自然な一部だと考えている。

問11 空所⑪に入れるのに、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① Thus                      ② But                      ③ Or                      ④ So



問12 下線部⑫の内容として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① Apes and monkeys can understand different combinations of 10 and 20.
- ② Apes and monkeys can learn to count accurately if trained carefully.
- ③ Apes and monkeys can identify the exact quantities of things.
- ④ Apes and monkeys can distinguish two very different quantities.

問13 下線部⑬Most で始まる段落の内容と一致しないものを一つ選びなさい。

- ① We tend to focus on our hands because we walk on two legs.
- ② The word “five” originates from the word “hand” in many languages.
- ③ Our talent for language helped us develop number systems.
- ④ Most number systems avoid using units of five.

問14 下線部⑭Numberless cultures で始まる段落の内容と一致しないものを一つ選びなさい。

- ① 「数を持たない」人たちにとって、数の概念は存在しないに等しい。
- ② 「数を持たない」文化の影響は、私たちの日常生活にも見られる。
- ③ 私たちの一日は、分や秒によって支配されている。
- ④ 私たちは、数の概念を具体的に実感することができない。

# 長文読解問題対策

長文では、いくつかの論が段階的に述べられます。

まずは、傍線部と同じ論展開の部分を区切ってしまいましょう。

基本的に、傍線部の言い換えはこの同じ論展開の中にあります。

どんな長文も展開で区切れば全て短文です！長さにビビらずに展開ごとに処理していきましょう！

¶ 1 _____	→	問 1
¶ 2 _____	→	問 2
¶ 3 _____	→	問 3
¶ 4 _____	→	問 4
¶ 5 _____	→	問 5

# 論理的関係を表す言葉には要注意！

出題者は受験生が論理的に文章を読解できているかを試すために、次の5つの関係に注目して解かせる問題がよく出題されます。これらの言葉の前や後ろが出題されたら、もう一方をヒントにして解いてみてください。

## ① 逆接関係

□ but	しかし	□ nevertheless	にもかかわらず
□ yet	しかし	□ in spite of this	これにもかかわらず
□ however	しかしながら	□ despite this	これにもかかわらず

## ② 因果関係

□ so	だから	□ as a result	その結果
□ thus	したがって	□ consequently	その結果
□ therefore	それゆえに	□ as a consequence	その結果
□ so ~ that ...	とても～なので ...	□ such ~ that ...	とても～なので ...

## ③ 例示関係

□ for exmple	例えば	□ like ~	～のように・～のような
□ for instance	例えば	□ such as ~	～のように・～のような

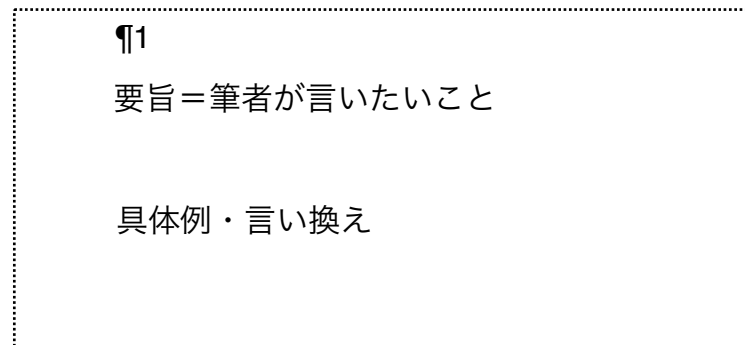
## ④ 追加関係

□ also	また	□ furthermore	さらに
□ besides	その上	□ additionally	さらに
□ on top of that	それに加えて	□ in addition	さらに
□ similarly	同様に	□ moreover	さらに
□ likewise	同様に		

## ⑤ 対比関係

□ on the other hand	その一方で	□ in contrast	それとは対照的に
□ while ~	～の一方で	□ in comparison	それと比べて
□ whereas ~	～の一方で		

- 基本的には1つのパラグラフで筆者が言いたいことは1つ。その要旨はほとんどがパラグラフで最初の文か最後の文です。
- 一つの主張を同じ内容を言い換えながら論証をしていきます。なので基本的に同じ事が繰り返し述べられているだけ!



- 問題を解くときは、解答の根拠(=なぜその答えになるのか?)を意識して(メモしながら)解こう。
- 間違った問題は、間違った理由(=なぜ間違ったのか?)を考えて次に同じ間違いをしないようにしておこう。ほとんどの場合は、根拠部の取り違えか、根拠部を明らかにしていないのが原因なのでキチンと解説を読みこんで確認するようにしよう!

## 内容一致問題対策

### □ しっかりと本文から根拠となる部分を押さえる！

- 傍線部の言い換え箇所を同じ論展開の中から探し出す。
- その上で選択肢の検討に入る。

### □ 選択肢は基本的に消去法で！

- 正解選択肢は本文の表現を言い換えているものが多く、パッと見ではわからない可能性がある
- 根拠としてとった部分と一致しないものを削っていき、残ったものが答え。
- 根拠としてとった部分と明確に一致するものがある場合は直答してもOK。

▶ 第1段落と、第1段落から解ける問題

¶ 1 Numbers are important in our lives. As you read this, you are likely aware of  
 what time it is, how old you are, your weight, and so on. The particular numbers in  
 our language <sup>影響を与える</sup> impact everything from our schedules to our self-esteem. In a  
<sup>歴史的な意味</sup> historical sense, **however**, <sup>数に焦点を当てた</sup> number-focused people like us are <sup>珍しい</sup> unusual. For most  
 of our <sup>種</sup> species' <sup>約</sup> approximately 200,000 years, ① we had no means of precisely  
<sup>言い表す</sup> representing quantities. **What's more**, the 7,000 or so languages that exist today  
<sup>異なる</sup> vary dramatically in <sup>大きく</sup> how they deal with numbers.  
<sup>～を扱う</sup>

問1 下線部①の意味として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① Our number words did not mean anything at all.
- ② Our words did not have <sup>正確な</sup> accurate meanings.
- ③ There was no precise way to <sup>発音する</sup> pronounce number words.
- ④ There was no way to express numbers accurately. <sup>正確に</sup>

▶ 第2段落と、第2段落から解ける問題

原住民

¶2 There are native people living along the Amazon river ( ② ) language does not have numbers. ....

問2 空所②に入れるのに、もっとも適当なものを一つ選びなさい。

① which

② who

③ whose

④ whom



▶ 第2段落と、第2段落から解ける問題

¶ 2 There are native people living along the Amazon river ( ② ) language  
~の代わりに  
does not have numbers. Instead of using words for precise quantities, these  
“numberless” people rely on terms such as “a few” or “some.” Without numbers,  
頼る 言葉  
humans struggle to differentiate and remember quantities as low as four. In  
苦勞する 区別する  
③an experiment, a researcher placed nuts into a can one at a time, then  
実験 入れた 缶  
取り除いた  
removed them one by one. The person watching was asked to ④signal when  
↳ ④  
all the nuts were gone. Responses suggested that numberless people have  
↳ ②  
~についていく 示唆した  
trouble keeping track of how many nuts remain in the can, even if there are only  
残っている  
合計で  
four or five in total. ↳ ①

問3 下線部③an experiment について、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① 「数を持たない」人たちは、ナッツの総数が4つか5つなら理解できる。
- ② 研究者は、参加者に缶に入れたナッツを取り出すよう指示した。
- ③ 「数を持たない」人たちは、少ない量であれ、数の把握が困難である。
- ④ 研究者は、一度に複数のナッツを缶に入れて数の把握を調査した。

▶ 第2段落と、第2段落から解ける問題

¶ 2 There are native people living along the Amazon river ( ② ) language  
～の代わりに  
does not have numbers. Instead of using words for precise quantities, these  
“numberless” people <sup>頼る</sup> rely on <sup>言葉</sup> terms such as “a few” or “some.” Without numbers,  
humans <sup>苦労する</sup> struggle to <sup>区別する</sup> differentiate and remember quantities as low as four. In  
③ an experiment, a researcher <sup>入れた</sup> placed nuts into a <sup>缶</sup> can one at a time, then  
<sup>取り除いた</sup> removed them one by one. The person watching was asked to ④ signal when  
all the nuts were gone. <sup>反応</sup> Responses <sup>示唆した</sup> suggested that numberless people have  
<sup>～についていく</sup> trouble keeping track of how many nuts <sup>残っている</sup> remain in the can, even if there are only  
four or five <sup>合計で</sup> in total.

問4 下線部④signal の意味として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| ① to request the researcher | ② to prove to the researcher |
| ③ to inform the researcher  | ④ to question the researcher |

▶ 第3段落と、第3段落から解ける問題

¶ 3 ⑤ This and many other experiments have led to a simple <sup>結論</sup> conclusion: when people do not have number words, they struggle to make number <sup>区別</sup> distinctions that seem natural to someone like you or me. **Those few languages that have no or almost no numbers <sup>示す</sup> demonstrate that number words are not <sup>普遍的な</sup> universal.**

問5 下線部⑤This で始まる段落の内容と一致するものを一つ選びなさい。

- ① Languages in the world naturally have numbers.
- ② **Number words do not exist everywhere in the world.**  
身に付ける
- ③ Numberless people naturally develop number distinctions.  
数多くの
- ④ Numerous languages have almost no number words.

▶ 第4段落と、第4段落から解ける問題

¶ 4 These numberless people are mentally normal and well adapted to where they live. Yet they struggle with tasks that require a precise understanding of quantities. ⑥This is unsurprising. After all, without ( ⑦ ), how can someone really understand whether there are, say, seven or eight birds in a tree? Such seemingly straightforward things become blurry through numberless eyes.

問6 下線部⑥This が指す内容として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① 「数を持たない」人たちは認知的な問題がみられないこと
- ② 「数を持たない」人たちは数を把握する作業が必要であること
- ③ 「数を持たない」人たちは数量の正確な把握に困難があること
- ④ 「数を持たない」人たちは居住する生活環境に適応していること

問7 空所⑦に入れるのに、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① counting
- ② counted
- ③ to count
- ④ been counted

▶ 第5段落と、第5段落から解ける問題

¶5 In our culture, before learning the words for numbers, children cannot clearly describe amounts <sup>～を超える</sup> beyond three. We must be taught the numbers before we can consistently and easily <sup>一貫して</sup> recognize <sup>認識する</sup> higher quantities. **In fact**, learning the <sup>正確な</sup> exact meaning of number words is a difficult process that takes years. Initially, <sup>最初は</sup> kids learn numbers much like they learn letters. They recognize that numbers are <sup>整理されている</sup> organized in a <sup>順番に</sup> sequence, **but** <sup>必要とする</sup> have little awareness of what each individual <sup>個々の</sup> number means. ⑧Numbers require much practice to master.

問8 下線部⑧の根拠として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① It is easy to recognize quantities greater than three.
- ② It takes effort to memorize numbers in a sequence.
- ③ It is impossible to exactly describe quantities.
- ④ **It takes time to link every number with its meaning.**

▶ 第6段落と、第6段落から解ける問題

¶ 6 None of us, then, is really a “numbers person.” **We are not naturally able to**  
└→ ②  
**describe quantities.** Without ⑨the cultural traditions that teach us numbers from  
幼少期  
infancy, we would all struggle with even basic amounts. As we grow up, number  
数字 変える  
words and written numerals transform our thinking. ...

問9 下線部⑨the cultural traditions について、本文の内容と一致しないものを  
一つ選びなさい。

- ① 多くの数量を適切に処理できるようになる前に数を学んでおく。
- ② **数量を表現するという生まれもった能力**を教育によって伸ばす。
- ③ 文字を習得するのと同じように幼少期から数について教わる。
- ④ 数を使いこなせるようになるために多くの練習が求められる。



▶ 第6段落と、第6段落から解ける問題

..... As we grow up, number words and written numerals transform our thinking.  
過程

⑩ The process seems so normal that we think of it as a natural part of growing up,  
備えている 本能  
but it is not. Human brains come equipped with limited number instincts, and those  
must be developed with age.

問10 下線部⑩の意味として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は, 人間の自然な成長だが、  
そうではないと考えることもできる。
- ② 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は, とても自然な成長である  
のに、当たり前現象とはとらえられていない。
- ③ 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は, 当たり前すぎて自然に  
生じる人間の成長だと思われがちだが、決してそうではない。
- ④ 年齢とともに数に習熟し思考が変化する過程は, 決して普通の現象では  
ないが、私たちは人間の成長の自然な一部だと考えている。

▶ 第7段落と、第7段落から解ける問題

¶ 7 Soon after birth, **we can already tell the difference between two very different quantities** — — for instance, 10 and 20 things. ( ⑪ ) we are not the only species できる capable of doing that. ⑫ Apes and monkeys can. **In addition to** this, birds can not only understand numbers to a certain degree, ある 程度 **but** actually 改善する improve their 技能 skills 大きく significantly when trained by animal researchers.

問11 空所⑪に入れるのに、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① Thus                      ② But                      ③ Or                      ④ So

問12 下線部⑫の内容として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- ① Apes and monkeys can understand different combinations of 10 and 20. 組み合わせ
- ② Apes and monkeys can learn to count accurately if trained carefully. 特定する
- ③ Apes and monkeys can identify the exact quantities of things. 区別する
- ④ **Apes and monkeys can distinguish two very different quantities.**

▶ 第8段落と、第8段落から解ける問題

¶ 8 ⑬ <sup>傾向</sup>Most human number systems rely on two key <sup>要因</sup>factors: the human <sup>才能</sup>talent for language and our tendency to focus on our hands and fingers. Not surprisingly, the <sup>大部分</sup>bulk of the world's languages have number systems that are based on 5, 10 or 20. The word “five” in many languages comes from the word “hand.” This focus on our hands — — an <sup>間接的な</sup>indirect result of our walking <sup>直立して</sup>upright — — has led to numbers being a part of most cultures, but not all.

問13 下線部⑬Most で始まる段落の内容と一致しないものを一つ選びなさい。

- ① We tend to focus on our hands because we walk on two legs.
- ② The word “five” originates from the word “hand” in many languages.
- ③ Our talent for language helped us develop number systems.
- ④ **Most number systems avoid using units of five.**

▶ 第9段落と、第9段落から解ける問題

¶ 9 ⑭ Numberless cultures help us understand how numbers impact every <sup>側面</sup> aspect of our daily life. Consider what time it is. Your day is <sup>支配される</sup> ruled by minutes and seconds, **but** these <sup>概念</sup> concepts are not real in any <sup>物理的な</sup> physical sense and do not <sup>③</sup> exist for numberless people. <sup>④</sup> ①

問14 下線部⑭ Numberless cultures で始まる段落の内容と 一致しないものを一つ 選びなさい。

- ① 「数を持たない」人たちにとって、数の概念は存在しないに等しい。
- ② 「数を持たない」文化の影響は、私たちの日常生活にも見られる。
- ③ 私たちの一日は、分や秒によって支配されている。
- ④ 私たちは、数の概念を具体的に実感することができない。

# ベリタスアカデミー

単語、熟語、文法 iOSアプリのご紹介



動画英単語2200



動画英熟語1000



動画英文法2700

Androidの方は「ベリトレ」でほぼ同じ学習ができます。



あの“高評価アプリ”と同じ演習を、誰でも！

ベリタス **Web** トレーニング

 YouTube



無料体験



# ベリタスアカデミー

結果ダス、ベリタス。オンラインで学べる45,000本の動画

## ベリタスアカデミー

🔒 ログイン

👤 アカウント

アカウントを8文字以上の半角英数字で入力して下さい。

🔒 パスワード

パスワードを半角英数字で入力します。

ログイン

新規アカウント登録

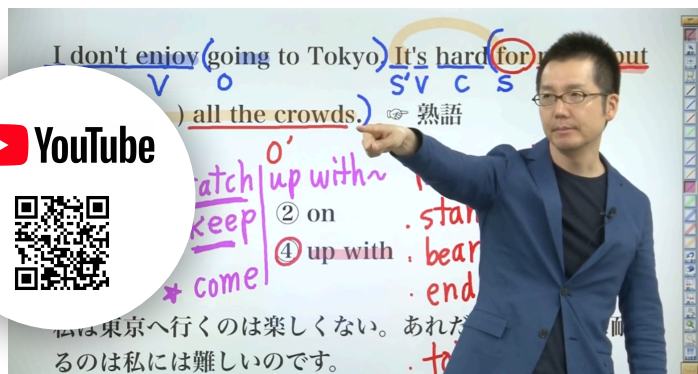
パスワードを忘れた方はこちら

無料体験

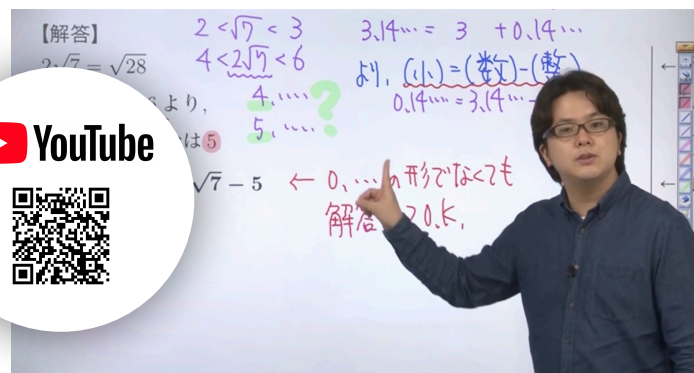


<https://online.veritas-academy.jp>

YouTube



YouTube



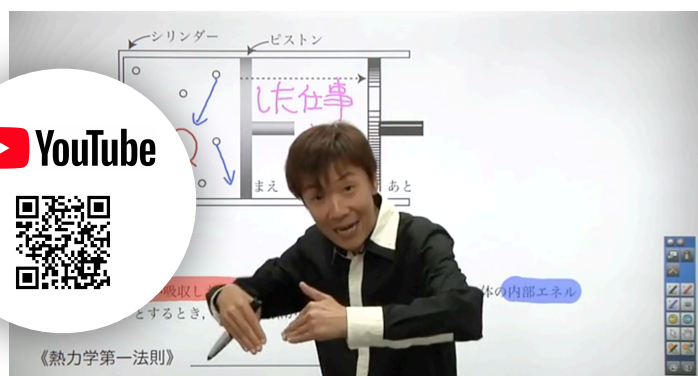
YouTube



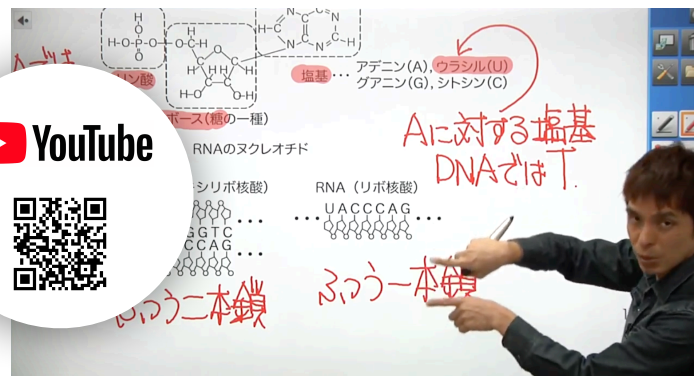
YouTube



YouTube



YouTube





# 「科目別対策講座」「過去問題解説講座」も充実！ 受講は龍谷大学HPから。




## ru navi

龍谷大学受験生向けアプリ  
ru navi (アールユーナビ)

Achieving your dreams  
龍谷大学の入試対策講座をインターネットで公開します！

進学相談会  
龍谷大学は全国各地で開催される進学相談会に参加しています。



① ココをクリック！

# Achieving your dreams

龍谷大学英語スタートアップ講座「英単語の覚え方」「英熟語の覚え方」  
「英文法の学習法」「長文読解の考え方」をインターネットで公開します！

Login ID

Password

送信

## LINE@お友達限定！

龍谷大学対策講座視聴ページをご覧いただくためには、龍谷大学入試部  
LINE@に登録いただき、届いたID、パスワードを入力する必要があります。

**龍谷大学入試部 @ryukoku\_nyushi1639**

■LINEアカウントをお持ちの方      ■LINEアカウントをお持ちでない方

 **友だち追加**      

龍谷大学の入試を熟知した外部講師による英語スタートアップ講座です。



② LINEに登録してパスワードをゲット→ログイン！

# 受講に興味をお持ちの方は

info@veritas.bz または info@v-a-l.jp までお問い合わせ下さい。

